

厚生労働省和歌山労働局発表  
平成 29 年 6 月 30 日

担 当	厚生労働省和歌山労働局 労働基準部	
	監督課長	津田 恵史
	健康安全課長	井上 剛宏
	監察監督官	中前 英人
	電 話	073 ( 488 ) 1150 073 ( 488 ) 1152 F A X 073 ( 475 ) 0113

## 建設工事現場などに対して重点監督を実施します

～ 7月に県下の全労働基準監督署において集中的に実施 ～

建設業における平成 28 年の労働災害による死亡者数は、全国で 294 人と前年比 33 人 ( 10.1% ) 減少しているところ、和歌山県内では 7 人と前年比 6 人 ( 700% ) 増加している状況にあり、和歌山県内の全業種における死亡者数 14 人の 50% を占めている状況にあります。

建設業における和歌山県内の死亡者数 ( 7 人 ) は、和歌山県の雇用者数が全国の雇用者数の 0.7% であるにもかかわらず、全国 ( 294 人 ) の 2.4% を占めており、また、発生率で見ると全国平均の 3.4 倍であるなど、全国平均と比べても高い発生状況にあります。

厚生労働省和歌山労働局 ( 局長 なかはらまさひろ 中原正裕 ) では、夏季は暑さにより集中力が減退し熱中症のおそれもあるなど労働災害が多く発生するおそれがあることから、全国安全週間 ( 7 月 1 日 ~ 7 日 ) を含む 7 月に、県下 5 か所の全労働基準監督署において、建設工事現場などに対して重点的に監督指導を実施します。

### < 建設工事現場などに対する重点監督 >

- 1 期間  
平成 29 年 7 月 3 日 ( 月 ) から 7 月 31 日 ( 月 ) まで
- 2 対象  
和歌山県内の建設工事現場
- 3 実施  
和歌山県下 5 か所の全労働基準監督署